

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第5区分  
 【発行日】令和2年7月2日(2020.7.2)

【公表番号】特表2019-534392(P2019-534392A)  
 【公表日】令和1年11月28日(2019.11.28)  
 【年通号数】公開・登録公報2019-048  
 【出願番号】特願2019-520026(P2019-520026)  
 【国際特許分類】

D 0 6 L 1/12 (2006.01)  
 C 1 1 D 3/40 (2006.01)  
 C 1 1 D 3/50 (2006.01)  
 C 1 1 D 3/37 (2006.01)  
 C 1 1 D 3/386 (2006.01)  
 C 0 9 B 11/00 (2006.01)

【 F I 】

D 0 6 L 1/12  
 C 1 1 D 3/40  
 C 1 1 D 3/50  
 C 1 1 D 3/37  
 C 1 1 D 3/386  
 C 0 9 B 11/00

【誤訳訂正書】  
 【提出日】令和2年5月15日(2020.5.15)

【誤訳訂正1】  
 【訂正対象書類名】明細書  
 【訂正対象項目名】0142  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】

【0142】

I. 洗浄溶液からのロイコ着色剤効率の決定方法

コットン見本(S t y l e 403)を切り取ってから、49で2回、ヘビーデューティ洗濯洗剤無増白剤(水溶液中1.55g/L)で洗浄する。試験される各ロイコ着色剤の濃縮原液は、エタノール又は50:50のエタノール:水から選択される溶媒、好ましくはエタノール中で調製される。

【誤訳訂正2】  
 【訂正対象書類名】明細書  
 【訂正対象項目名】0143

【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】

【0143】

A. 変換剤なしの液体媒体

ベース洗浄液は、AATCCヘビーデューティ液体洗濯洗剤無増白剤(5.23g/1.0L)を脱イオン水に溶解することによって調製される。4つの切り取られたコットン見本と一緒に秤量し、2つの10mmガラス大理石と共に250mLの三角フラスコに入れる。試験される各洗浄液について合計3つのそのようなフラスコを準備する。ベース洗浄液にロイコ着色剤原液を投与して、所望の $2.0 \times 10^{-6}$  N 洗浄剤濃度のロイコ着色剤を有する洗浄溶液を得る。(例として、493.65g/当量の等価重量を有するロイコ着色剤の1.0ppm洗浄液、又は757.97g/当量の等価重量を有するロイコ着

色剤の 1.5 ppm 洗浄液は、 $2.0 \times 10^{-6}$  N ロイコである洗浄溶液を提供する。)

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0147

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0147】

B. 変換剤を有する液体媒体 (補助変換剤なし)

ベース洗浄液は、都市用水が塩素で処理されている都市用水に、ヘビーデューティ液体洗濯洗剤無増白剤 (5.23 g / 1.0 L) を溶解することによって調製される。都市水中の遊離塩素及び総塩素のレベルは、Chemours の塩素 Vac-vials (登録商標) (CHEMetrics, Inc., Midland, VA) を使用して、製造業者の指示に従って測定することができる。4 つの切り取られたコットン見本と一緒に秤量し、2 つの 10 mm ガラス大理石と共に 250 mL の三角フラスコに入れる。試験される各洗浄液について合計 3 つのそのようなフラスコを準備する。ベース洗浄液にロイコ着色剤原液を投与して、所望の  $2.0 \times 10^{-6}$  N 洗浄剤濃度のロイコ着色剤を有する洗浄溶液を得る。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0151

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0151】

C. 変換剤プラス補助変換剤を有する液体媒体

ベース洗浄液は、都市用水が塩素で処理されている都市用水に、ヘビーデューティ液体洗濯洗剤無増白剤 (5.23 g / 1.0 L) を溶解することによって調製される。都市水中の遊離塩素及び総塩素のレベルは、Chemours の塩素 Vac-vials (登録商標) (CHEMetrics, Inc., Midland, VA) を使用して、製造業者の指示に従って測定することができる。4 つの切り取られたコットン見本と一緒に秤量し、2 つの 10 mm ガラス大理石と共に 250 mL の三角フラスコに入れる。試験される各洗浄液について合計 3 つのそのようなフラスコを準備する。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

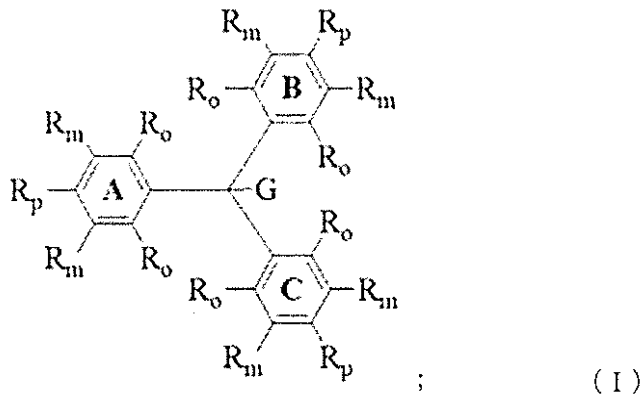
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) ロイコ組成物を含む洗濯ケア組成物を用意するステップと、(b) 変換剤を含む液体媒体に前記洗濯ケア組成物を添加するステップと、(c) 前記織物物品を前記液体媒体と接触させるステップと、(d) 前記ロイコ組成物の少なくとも一部分を変換して酸化ロイコ組成物を形成するステップと、(e) 前記酸化ロイコ組成物の少なくとも一部分を前記織物上に付着させるステップと、(f) 任意に、前記織物をすすぐステップと、(g) 前記織物物品を乾燥させるステップと、を含み、前記織物物品は、向上した青味付けを有する、織物物品を処理する方法であって、

前記ロイコ組成物が、式 I で表される化合物を含み、

## 【化1】



式 I 対その酸化形態の比は少なくとも 1 : 3 であり、式中、環 A、B 及び C の各々の個々の  $R_o$ 、 $R_m$  及び  $R_p$  基は、水素、重水素及び  $R^5$  からなる群から独立して選択され、各  $R^5$  は、ハロゲン、ニトロ、アルキル、置換アルキル、アリール、置換アリール、アルカリル、置換アルカリル、 $-C(O)R^1$ 、 $-C(O)OR^1$ 、 $-C(O)O^-$ 、 $-C(O)NR^1R^2$ 、 $-OC(O)R^1$ 、 $-OC(O)OR^1$ 、 $-OC(O)NR^1R^2$ 、 $-S(O)_2R^1$ 、 $-S(O)_2OR^1$ 、 $-S(O)_2O^-$ 、 $-S(O)_2NR^1R^2$ 、 $-NR^1C(O)R^2$ 、 $-NR^1C(O)OR^2$ 、 $-NR^1C(O)SR^2$ 、 $-NR^1C(O)NR^2R^3$ 、 $-OR^1$ 、 $-NR^1R^2$ 、 $-P(O)_2R^1$ 、 $-P(O)(OR^1)_2$ 、 $-P(O)(OR^1)O^-$ 、及び  $-P(O)(O^-)_2$  からなる群から独立して選択され、前記 3 つの環 A、B、又は C のうちの少なくとも 1 つの  $R_o$  基及び  $R_m$  基のうちの少なくとも 1 つは、水素であり、各  $R_p$  は、水素、 $-OR^1$ 、及び  $-NR^1R^2$  から独立して選択され、

式中、G は、水素、重水素、 $C_{1 \sim 6}$  アルコキシド、フェノキシド、ビスフェノキシド、亜硝酸塩、ニトリル、アルキルアミン、イミダゾール、アリールアミン、ポリアルキレンオキシド、ハロゲン化物、アルキルスルフィド、アリールスルフィド、及びホスフィンオキシドからなる群から独立して選択され、

式中、 $R^1$ 、 $R^2$  及び  $R^3$  は、水素、アルキル、置換アルキル、アリール、置換アリール、アルカリル、置換アルカリル、及び  $R^4$  からなる群から独立して選択され、 $R^4$  は、28 ~ 500 の範囲の前記モノマー分子量を有する 1 つ以上の有機モノマーから構成される有機基であり、

前記化合物に存在する任意の電荷は、適切な独立して選択された内部又は外部対イオンと平衡化される、織物物品を処理する方法。

## 【請求項 2】

前記変換剤は、塩素、二酸化塩素、次亜塩素酸塩及びそれらの混合物からなる群から選択される、請求項 1 に記載の織物物品を処理する方法。

## 【請求項 3】

前記 3 つの環 A、B、又は C のうちの少なくとも 1 つの  $R_o$  基及び  $R_m$  基の 4 つ全てが水素である、請求項 1 又は 2 に記載の織物物品を処理する方法。

## 【請求項 4】

3 つ全ての環 A、B、又は C の全ての  $R_o$  基及び  $R_m$  基が水素である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の織物物品を処理する方法。

## 【請求項 5】

3 つ全ての  $R_p$  が、 $-NR^1R^2$  である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の織物物品を処理する方法。

## 【請求項 6】

$R^4$  が、アルキレンオキシシ、オキソアルキレンオキシシ、オキソアルキレンアミン、エピクロロヒドリン、四級化エピクロロヒドリン、アルキレンアミン、ヒドロキシアルキレン

、アシルオキシアルキレン、カルボキシアルキレン、カルボアルコキシアルキレン、及び糖からなる群から選択される、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の織物物品を処理する方法。

【請求項 7】

前記洗濯ケア成分が、界面活性剤、ビルダー、キレート剤、移染防止剤、分散剤、酵素、酵素安定剤、触媒物質、漂白活性化剤、ポリマー分散剤、クレイ汚れ除去剤、再付着防止剤、増白剤、抑泡剤、染料、香料、香料送達系、構造化剤、布地柔軟剤、キャリア、ヒドロトロップ、加工助剤、顔料、酸化防止剤、及びこれらの混合物からなる群から選択される、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の織物物品を処理する方法。